

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月16日

事業所名:児童デイサービスセンターおひさま2

保護者等数(児童数) 15家庭 回収数 15 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				・子どもが走り回ったり、場所を大きく使って遊べるので十分な広さだと思います。 ・十分確保されていると思います。 ・たくさん走り回れる程、スペースが十分に確保されている。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1			・子ども1人の日でも、先生は2人ついて下さるのでありがたいです。 ・先生の数が十分なので子どもも安心して通っている。 ・子どもの人数に応じて、適切だと思います。 ・ほとんどは適切だと思いますが、時々多かつたりするのかなと感じました。 ・1人だけの出席に対しても、進行役、補助役と先生がついてくれる事はすごいと思う。	配置基準は10:2ですが、おひさままでは10:4で職員配置を出来るようにしています。また、活動内容や子どもたちの状況に応じて職員体制を考えています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13		2		・しっかり片付けられており、何の活動がメインかとても分かりやすい。 ・余計な物がなく活動に集中できる。 ・靴箱と荷物を入れる棚と同じ絵カードが貼ってあり、視覚的に分かりやすいと思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12		3		・換気もしっかりされていて、活動時の子どもたちの様子に応じて空調も変えてくれる。 ・建物の古さはあるものの掃除はどこも行き届いており清潔感がある。 ・空気清浄器が設置されており、心地よく過ごせています。	活動終了後に、活動室内、トイレ等の清掃を行っており、定期的に子どもたちが使用した玩具の消毒を行っています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画ⅱが作成されているか	15				・聞き取りされたことをしっかり反映されており、分かりやすく作成されている。 ・今できること、できないことへの今後の取り組み方がしっかりしている。 ・ニーズに応じた支援計画を作成して頂いています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15				・本児の発達に合わせた支援内容が設定されていると思います。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15				・計画に沿った支援だが、一緒に活動する子どもたちが年下なこともあり、物足りない感はある。 ・支援計画に沿って支援をして頂いています。	子どもたちの状況に応じて活動内容やグループ異動の時期を検討しています。今後も子どもたちに合わせた支援を継続していきたいと思っています。
	8 活動プログラムⅲが固定化しないよう工夫されているか	15				・毎月いろいろな活動があって親子で楽しんでいます。 ・活動の内容が少しずつ変わっているため、子どもの様子で違う面を発見できている。 ・感覚あそび、体を動かす遊び等、工夫されていると思います。 ・活動は日ごとに違い、固定化されていないので子どもも楽しく楽しみにしています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の子どもと活動する機会があるか	7		5		3	・仕事の都合や幼稚園での活動を優先することもあり、交流日に参加できていない。 ・遠足等で他児との関わりもあり本人への刺激になる。

	10	幼稚園・保育所・認定こども園とおひさまの連携が取れているか	11	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園での様子を最近確認していない為、分からない。 ・連絡会でお互いの様子を伝達し合い、支援に活かされている。 ・幼保連絡会があり、連携は取れていると思います。 ・保育園の状況やおひさまの状況が共有できていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を行いながら併行通園先と幼保連絡会を通して、情報共有を行っています。保護者や園の先生方からの要望があれば、園訪問や電話で連携を図ることも可能です。
	11	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				
	12	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧な説明をしています。 	
	13	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが苦手なことに関して、こうしたらどうか等提案やアドバイスもらえるので参考になります。 ・懇談会の講話はいつも勉強になります。 ・言葉の掛け方がとても参考になる。 ・定期的に専門職の先生方が勉強会を開いて下さってとてもためになっている。 ・家族通園を通して、子どもへの関わり方をアドバイスしてもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本家族通園で活動し、懇談会の中で、講師を招いての勉強会や年2回の療育相談の実施、活動終了後に振り返りの時間を設ける事がおひさまとしてのペアレントトレーニングと考えています。
	14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15			<ul style="list-style-type: none"> ・些細なことでも先生方はよく気付いて下さいます。 ・子どもの様子を詳しく教えて下さり、また、こちらの相談や家庭で様子を話すことも多く、情報共有がよくできている。いつもありがとうございます。 ・代理の者(父)が出席した時の子どもの様子を教えてくれるのでありがたい。 ・些細なことでも相談でき助かっている。 ・毎回活動後等にその日の子どもの様子を教えて下さっているので、こちらお家で様子を伝えやすいと感じる。 ・活動中の状況を伝えて頂いているので、共通理解できていると思います。 ・共通理解できていると思います。特に怪我をした後の声掛けがすごいと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も共通認識の元、対応ができるよう職員同士連携を図りたいと思います。
保護者への説明等	15	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15			<ul style="list-style-type: none"> ・活動中どうしても子どもが困った行動をするのか丁寧に説明してくれる。 ・育児で分からないことを質問すると親身になって助言してもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 来所の際や活動終了後の振り返り等を通して、今後も個別に話をする時間を作っていきたいと思います。
	16	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の都合により、子どもの活動以外の活動に参加できていない。 ・様々なイベントで顔を合わせ ・懇談会等を通して共感してもらえ ・懇談会で他の保護者の意見を聞くことができ育児の参考にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に続き、感染症拡大防止の為、放課後等デイサービスと同様の懇談会は出来なかったです。父母の会は設立していませんが、分離や懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。必要に応じて職員が入る事もできるので声を掛けて頂ければと思います。
	17	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> ・行事への出席確認をした際に、急ぎの内容ではなかったが、すぐに確認してくれた。 ・毎回ベテランの先生がいるわけではないため、なかなか相談できない時もある。 ・適切に対応されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修等を通して、学びの機会を持ち、いつでも相談に応じられる体制を作っていきたいと思います。
	18	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15			<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけてくれるので話しやすい。 ・先生も積極的に話し掛けて下さるので意思の疎通は十分にできていると思う。 	

						<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の都合で、出席日を決めている為、早くにHPで翌月の活動内容を確認できるのはありがたい。 ・スポーツDAY、遠足等の時の持ち物をおたより等にも書いて欲しい。 ・おたより、HP等で必要な情報が見られるので助かっています。 ・ネットだけではなく、通所されている保護者におたよりを渡してくれるのは凄くありがたい。 	<p>おたよりは毎月25日まではホームページにアップできるように心掛けています。おたよりにも行事の詳細を記載するようにしていきます。</p>
	19	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15				
	20	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15			<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意して取り扱っていると感じます。 	<p>取扱いには十分注意を払い対応します。</p>
非常時等の対応	21	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13			<ul style="list-style-type: none"> ・出席日が少ない為、訓練が実施されているか分からない。 ・壁にきちんと掲示されている。 	
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13			<ul style="list-style-type: none"> ・出席日が少ない為、訓練が実施されているか分からない。 ・避難訓練は定期的に行われている。 ・月に1度、避難訓練が行われているのは凄いい取り組みだと感じます。 	<p>事業所としては毎月避難訓練を実施しています。</p>
満足度	23	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> ・先生方のことが好きで、家庭でも会話の中に先生方の名前が出てきます。毎回会えるのを楽しみにしているようです。 ・活動内容を事前に伝え、楽しみと言う日もあれば、嫌なことを思い出して足が重い日もある。 ・今まで通所を嫌がったことは一度もなく、活動後は楽しかった！と話している。 ・お友達や先生の姿を見ると笑顔になるので楽しみにしていると思います。 ・子どもは凄く通所を楽しみにしています。 ・少しずつですが、子どもの成長を感じられているので、おひさまに通って本当に良かったと思います。 	<p>子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を中心掛けています。個別の中で保護者にお伝え出来るように心掛けています。何かあればいつでも面談等の時間を作りたいと思います。</p>
	24	事業所の支援に満足しているか	15			<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつですが、子どもの成長を感じられているので、おひさまに通って本当に良かったと思います。 ・様々な活動を通して、多くの経験をさせて頂き、ありがとうございます。 ・振り返りで活動の目的、その後どうつながるのかも教えてくれるので勉強になるし、家での遊び方に活かしている。 ・子どもに合わせた支援を下さり、満足しています。 ・凄く満足しています。 	<p>子どもたちへの関わり方を見直し改善出来るようにしていきたいと思っています。今後も、保護者からの意見要望を懇談会や日々の活動を通して伺い、活動に活かしていきたいと思っています。</p>

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月16日

事業所名:児童デイサービスセンターおひさま2

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		人数が多い際に、更衣室が込み合うことが時折ある為、順番等工夫しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	活動室と更衣室を分ける等、物的環境を整えています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・感染症対策として、活動終了後の清掃や定期的に玩具の消毒を行っています。また、加湿器やCO2濃度計・空気清浄機の設置をすることで、安心して活動ができるようにしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の振り返りや月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋がります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		自己評価の実施を行い、HPにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。	
適切な支援の提	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		連絡表や個別支援計画書、日々の振り返り等を通してニーズに基づく計画作成を行っています。外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。必要に応じて感覚プロフィールを実施して評価しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		外部で行われたアセスメントツール等結果も情報共有して支援の参考にしています。必要に応じて感覚プロフィールを実施して評価しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に検討会議を行い作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元、支援ができるようにしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		素案を元に参加スタッフ全員で行っています。また、専門職の先生方にも相談し活動を考えています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の行事等も取り入れながら、月の計画が固定化されないようになっています。また、月齢や子どもの様子に合わせた活動を工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ケースカンファレンスを行い、共通理解の元支援できるようにしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動終了後に保護者との振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録、全体記録をとっています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日頃、保護者と会話の中で行っているが、定期的に行っていないケースもある為、見直していきたいです。
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関との会議を通して、連携が図れる体制を作っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		年2回の幼保連絡会を行い連携を図っています。必要に応じて電話や園に訪問し連携を図っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部研修や公開療育等を通して連携を図っています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行っています。ほとんどの子どもは、幼稚園、認定こども園、保育園に就園しています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		法人関係者が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		基本家族通園を行っており、活動終了後保護者と振り返りを行っています。		
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		基本家族通園で活動し、年4回の懇談会を通して講師や専門職を招いての勉強会や年2回の療育相談の実施、活動後に振り返りの時間を設けています。また、年8回OT・STとのミニ勉強会を取り入れるようにしました。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行い、書類もお渡ししています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者が自由に見れる場所にガイドラインと評価表を掲示してあります。初回はガイドラインを提示しながら個別支援計画の面談を行うようにしています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は設立していませんが、分離の活動や懇談会、行事を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページ等でお知らせしています。25日まではアップできるよう心掛けています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度は感染症対策の為、行事の際等に、地域の方の協力を得ることは難しかったです。今後も地域との交流を持ち協力等を得ながら関係性を築いていきたいです。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		掲示等を通して周知しています。また、年に1回総合避難訓練を行っています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		事業所としては毎月避難訓練を行っています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、該当児はいませんが、食物アレルギーのあるお子さんは、医師の指示書の元、除去食の提供をしています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修会に参加することや必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			基本、身体拘束は行っていません。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。